

つくし園だより



第124号
2021年
5月1日
発行

発行
児童養護施設
黒松内つくし園
発行人 岡久孝雄
〒048-0101
黒松内町字
黒松内 562-1
TEL
0136-72-3033
FAX
0136-72-4066

新型コロナウイルス今後の対応について

道民の皆様へお願い

- 外出の際には
緊急事態宣言対象地域等行動制限が要請されている地域との不要不急の往来を控える
- 飲食の際には
4人まで、短時間、深酒せず、大声出さず、会話はマスク
- 職場内では
休憩場所など感染リスクが高い場所での対策を徹底する

昨年の4月16日から5月6日まで、新型コロナウイルス感染症防止の為に、全国に緊急事態宣言が発令されました。

北海道では全国に先駆け、2月28日から3月19日までの3週間、独自の緊急事態宣言が発令され、小・中・高校が休校となりました。あれから1年経ちました。現在、4月25日より4都府県で3度目の緊急事態宣言が発出されました。北海道においても、特に札幌市で感染者が増加しています。

当園では例年3月に各部屋が外出し、買い物などをしながらお別れ会をしていましたが、今年は園で食事会や、インターネットショッピングなどを行いました。また、5月連休の恒例行事となっている日帰りバス旅行についても2年連続で中止となりました。学校の行事についても今後の感染状況により変更または中止となるかもしれません。

現在つくし園では指定場所で1時間程度の面会が可能です。しかし、今後の感染や、北海道や国の動向によって変更になる可能性があります。その際はすみやかにご連絡をいたします。

保護者の方々には大変ご不自由をおかけしますが、新型コロナウイルスの感染を予防する為、ご理解とご協力をお願いいたします。

入学を祝う会



4月5日、新入学児童20名（認定こども園2名、黒松内小学校3名・黒松内中学校5名・白井川中学校1名・長万部高等学校3名・蘭越高等学校2名、余市養護学校しりべし学園分校1名、今金高等養護学校1名、伊達高等養護学校2名）の入学を祝う会が行われました。

新入生の紹介は夕食時に行われましたが、新型コロナウイルスの感染予防対策として一度に食事する人数を制限しています。その為、岡久施設長が2回に分けて紹介して下さいました。これからはそれぞれ新生活が始まります。色々なことを経験して皆さんの思い出を作ってください。みなさん入学おめでとうございます。

誕生日会



4月17日、4月の誕生日会が行われました。つくし園では毎月誕生日会が行われています。誕生日の夕食はごちそうが用意され、誕生日を迎える子のお祝いをしながら、お部屋で一緒に食事します。今回のメニューはもんじゃ焼き、焼きそば、ケーキ、ジュースでした。子ども達はホットプレートでもんじゃ焼きを調理して食べました。

今月誕生日を迎えた男の子は「もんじゃ焼きを初めて食べました。お好み焼きを想像していたのでびっくりしましたが、味はサイコーでした。」と笑顔で話してくれました。

自転車整備



4月10、11日、自転車点検整備が行われました。今年の冬は積雪量が多くなり、記録的な大雪となりました。しかし、3月後半から4月にかけて暖かい日が続いた為、例年とあまり変わらない雪解けとなりました。

黒松内中学校では自転車通学が許可されています。しかし、12日に行われる自転車点検に合格しなければなりません。それに合わせて、子ども達全員分の自転車整備を行いました。

風はまだ冷たかったのですが、天候に恵まれました。子ども達は昨年使用した自転車のほこりをふき取り、ブレーキやチェーンオイル、ライト、呼び鈴などの点検を行いました。

小学生の女の子は「自転車大好きです。さっそく放課後自転車に乗りました。とっても楽しかったです。」と笑顔で話してくれました。

寄贈品紹介



4月6日、株式会社セブーンイレブンジャパン様よりたくさんのお菓子とクリアファイルが届きました。ご寄贈いただいたお菓子は子ども達のおやつとしておいしくいただきました。子ども達はみなさまからの贈り物にとっても感謝しております。本当にありがとうございます。

「お菓子とわたし」作文コンテスト



『お菓子とわたし』作文コンテストにて、当園の中学生が優秀賞を受賞しました。

これは全日本菓子協会が主催し、農林水産省が後援で行われた作文コンテストです。応募総数はなんと3万238点、最優秀賞2点（小・

中学生各1名）優秀賞20点（小・中学生各10名）が選ばれ、みごと優秀賞を受賞しました。作文を紹介します。

『思い出のプリン』

プリンを見ると思い出す。楽しかった父との思い出を。

私は小さい頃からプリンが大好きだった。父に影響を受けたのだと思う。父は甘党で、私がテストで良い点を取った時も、けんかをした時も、何かある度に、おいしそうなプリンを買って帰ってきてくれた。父はプリンを手に笑顔で、

『○○、プリン食べるか？』と聞いてくれた。そんな父の優しさがうれしくて、私はいつも、

『パパありがとう！一緒に食べよ！』と返事をしてきた。私が思うにそれは二人だけの言葉になっていったと思う。

しかし、別れの日は突然やってきた。私が小学四年生の時、大きな失敗をしてしまい、その事で両親がケンカをしてしまった。それだけでなく、少し前から二人の仲は悪くなっていくらしく、しばらくし

て母と私と弟は家を出、父とは離れて暮らすことになった。

それからしばらくの間は、何度か父の家に行き、父の買ってくれたプリンを食べながら楽しい時間を過ごすこともあった。しかし、私が小学六年生になった年に母は再婚し、私も施設に入所したため、それきり父とは会えていない。

私はプリンを見ると考える事がある。それは私達の人生は少しプリンと似ているのではないかと……という事だ。つらい事、別れ、悲しい事は苦い部分。楽しい事、うれしい事、幸せな事は甘い部分。二面の感情や、二種類の出来事があり、調和することで今の私があるのではないかと思う。

私は中学を卒業したら、父の家へ行きたいと思う。もちろんプリンを持って。今回は私の手作りにしたい。うまく作れるか自信はないけれど、今までの私のはなし、父のはなしをしながら、プリンを食べて笑いたい。

こいのぼり・五月人形

4月11日、こいのぼりの飾りつけを行いました。

職員と子ども達が法人本部前にある国旗掲揚ポールにこいのぼりを飾りました。風が強くと、作業は大変でしたが、風を受けて大空を気持ちよさそうに泳ぐ姿を見ることができました。

4月25日、五月人形の飾りつけを行いました。玄関ホールと新館ホールの2か所にそれぞれ職員と子ども達が集まり、協力して飾りつけを行いました。

今回お手伝いをしてくれた小学生は『兜をかぶってみたいです。小さくて無理だと思いますが……』と笑顔で話してくれました。



ご厚志に心より感謝申し上げます(R3.3.26~4.25) ※敬称略
 <ご寄贈> トドック、中央ライフサポート、大島亜利沙
 株式会社セブン-イレブンジャパン、クレイン中條
 <ご寄付>
 ※常勤役職員からのご厚志については、
 お名前を控させていただきます。

編集後記
 ちょうど一年前、全国で緊急事態宣言が発令されていました。学校が休校となり、子ども達は外に出ることもできず、園内で過ごしていました。
 現在、新型コロナウイルスの感染者は増え続けています。4月25日には4都府県で3度目の緊急事態宣言が発出され、北海道でも特に札幌で感染者が急増しています。
 当園では連休中に誕生会（園内花見 BBQ）、レクリエーション、調理実習やインターネットショッピング、TVゲームなど、子ども達が楽しめるような行事を企画しています。
 瀬尾 康志

- ### つくし園の5月の予定
- ◆ 1日 白中・今金高養開校記念日、園内花見（誕生会）男子棟レク
 - ◆ 2日 さくら調理実習
 - ◆ 3日 憲法記念日、ふじ、すみれ調理実習
 - ◆ 4日 みどりの日、女子棟レク、たんぼほきく調理実習
 - ◆ 5日 こどもの日、すずらん、あさがお、つめ調理実習
 - ◆ 6日 白小知能検査、黒中懇談会
 - ◆ 7日 白小参観日、長・蘭・寿高尿検査
 - ◆ 8日 黒中陸上部大会（～9日）
 - ◆ 9日 蘭高1年宿泊研修（～11日）
 - ◆ 10日 分校内科健診
 - ◆ 11日 黒小参観日、白小・中内科健診、高体連壮行会
 - ◆ 12日 黒小参観日、蘭高1年振替、黒・白中修学旅行（～14日）
 - ◆ 13日 子ども園尿検査
 - ◆ 14日 黒小内科健診
 - ◆ 17日 黒小参観日
 - ◆ 18日 白小・黒中歯科検診、黒小遠足
 - ◆ 19日 黒小尿検査、白小・白中・黒中尿検査
 - ◆ 20日 子ども園参観日（こあら）分校X線・心電図検査
黒中2年宿泊研修（～21日）
 - ◆ 21日 子ども園参観日（ばんだ）、蘭高尿検査
 - ◆ 24日 白小中運動会特別日課開始
 - ◆ 26日 黒小中・白小中・分校眼科検診、今金高養1年職場見学
 - ◆ 27日 黒小中・白小中学力調査、男子体測
 - ◆ 28日 子ども園誕生会、黒小運動会特別日課開始
黒中体育祭、女子体測
 - ◆ 31日 分校運動会日課開始、今金高養体育祭日課開始